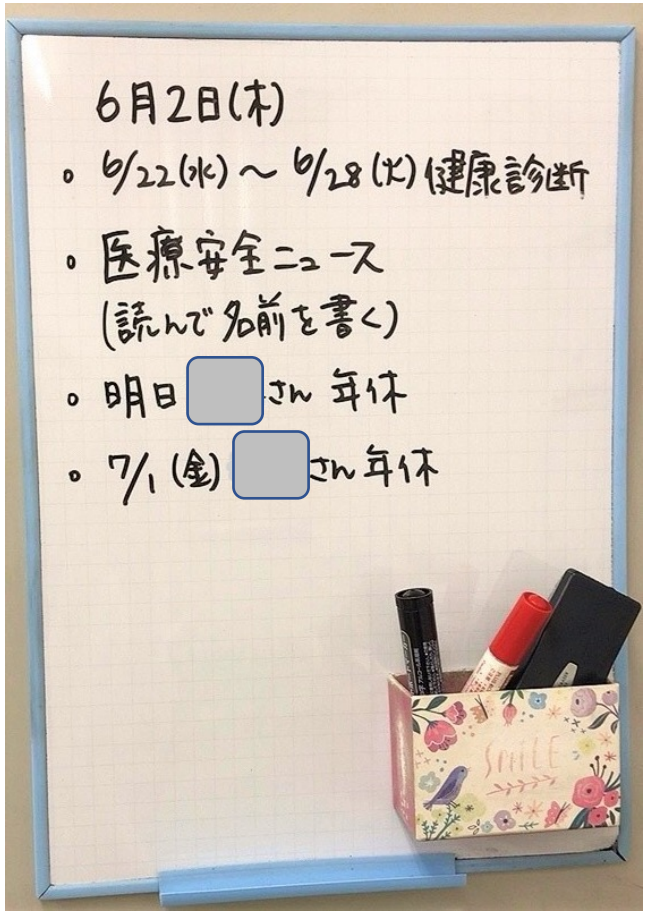
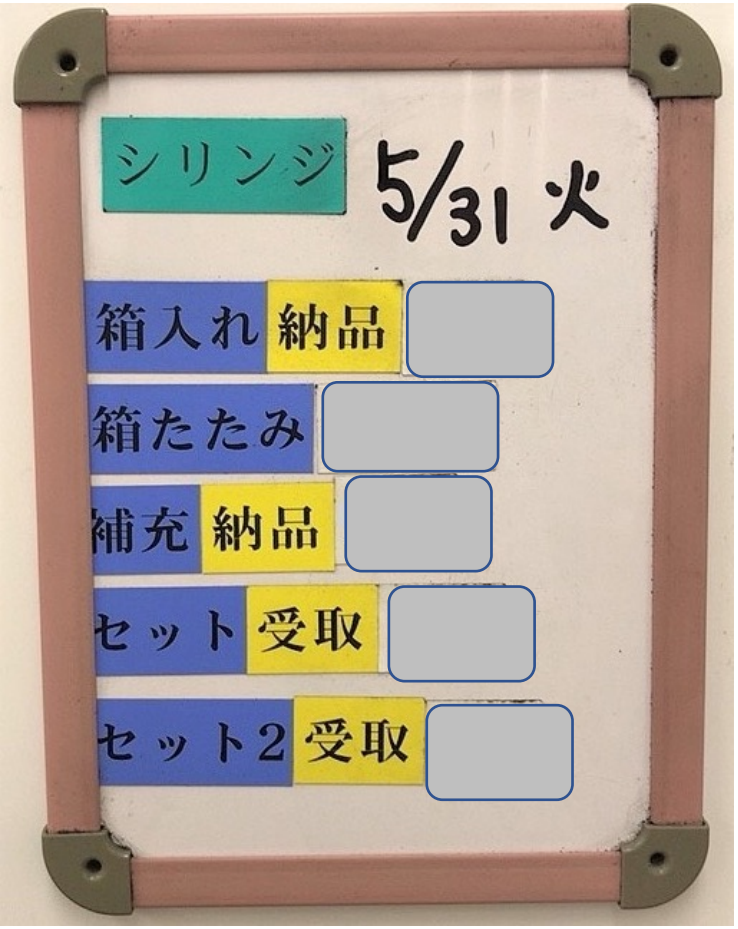
ホワイトボードの活用

【国立がん研究センター東病院】

国立がん研究センターの集約型オフィスであるオフィスオークでは、スタッフへの伝達事項や集団で行う作業の担当者などについては、ホワイトボードを使って確実に伝えるようにしています。

朝礼に使っている小ぶりのホワイトボードは、最初は難聴のスタッフのために導入しましたが、結果的には多くのスタッフが目で見て確認できるのでプラスとなっています。他にもこまごまと、付箋などを使って抜け漏れを防ぐようにしています。





オフィスオークでは基本的に2人1組で業務に当たっており、１組ごとに大きなホワイトボード1枚に１日のスケジュールを見れるようにしています（使っていないスタッフもいます）。
ホワイトボードの日付や業務内容、場所などはマグネットのテプラで作成されており、前日の最後に翌日の予定を自分たちで変更してから帰ります。